

天皇誕生日祝賀レセプション(インド)

協力／参加企業・自治体：参加企業12社、高知県

Japanese consulate celebrates emperor's 65th birthday

- 天皇誕生日祝賀レセプションにて、日本水産品の魅力を発信するため、日本産のホタテ、エビ、サケ、鯖等を使い、ホテルのインド人シェフらがその場で調理実演する、3つ(寿司、天ぷら、鉄板焼き)の特設カウンターを設けた。
- 別途、高知県から提供のあったマグロ、ブリ、マダイを使い日本人シェフが寿司を提供。
- 会場では、日本産酒類を提供するバー・カウンターも設けた。
- 当日は、インド・カルナータカ州産業大臣をはじめ、州政府関係者や日印企業関係者など約400名が来場し、日本産水産品を使った日本食を楽しんだ。
- 本件レセプションの様子は、現地ニュー・インディアン・エクスプレス紙で「日本の全てのもの」と題して報じられた。また、デカン・ヘラルド紙では「ベンガルルールで日本総領事館が天皇誕生日を祝った」と題して報じられた。



現地報道ぶり



日本産水産品調理特設カウンター
(寿司、天ぷら、鉄板焼き)



高知県提供のマグロ等で寿司を提供



寿司と日本食を楽しむパティル州産業大臣(右)及び
ダヤナンダ・ベンガルール市警察長官(中央)